

六甲中学突破カリキュラム

各学年の学習ポイント

入試データとポイント

学習計画

基本戦略

◎ 年間スケジュール

	2月～7月	8月～1月	2月～4月	5月～8月	9月～11月	12月～1月
学校行事	期末テスト 三者面談					
トライ対策スケジュール	5年 基礎力養成期		6年			
	・算、国、社、理： 四谷大塚予習シリーズ4年生上下	・算、国、社、理：四谷大塚予習シリーズ5年生上下	応用力養成期		発展力養成期	実践力養成期
ポイント	算数：計算問題→複雑な計算を要する問題が多いため、時間を短縮し、確実に得点できるかが合格へのカギとなる。 文章題→論理的思考や閃きを問われる難問が多い。多くの問題をなるべく解く！ 図形問題→最も高い応用力として問われる問題が多く出題されている。 国語：長文問題→全体的に長めの文章が出題される。慣用句やことわざ、敬語の用法についても基本的なところはおさえておく。 漢字問題→毎回書き取り問題が10問出題される。日ごろからの積み重ねがものをいう問題である！					

◎ こういう生徒にお勧め！

中学年
「わからないところが増えてきた（苦手科目がでてきた）」
「中学受験の準備がまだできていない（意識が足りない）」
高学年
「塾の内容についていけない」
「志望校までに偏差値が足りない」
「何とか受験に間に合わせたい」

◎ 対象エリア

対象学年：小学3年～6年生
対応地域：近畿圏内
指導期間：お申し込み時から受験日の月末

◎ 対策の特徴

特徴1
細かい計画・戦略を練ったプロによる指導が受けられる。
特徴2
超難問への解き方対策。考え方は勿論、テクニックもしっかり身に付けることができる。
特徴3
塾の解き方にあわせた指導からより明確な解法まで生徒に合わせた指導を行なう。
対応教師
セレクトBからプロバンスの教師

◎ Data Mining

入試データ & ポイント	平成22年度は募集人数150人に対し、受験者数351人、合格者178人、合格最低点226/400点 ポイント：・ここ5年間、配点及び試験時間に変更なし。・受験合格に関して六甲中学の偏差値に生徒の偏差値を上げるというものではなく六甲中学の最低合格ライン+αを獲得する対策をとる。・最低合格ラインは約240点。最低合格ラインは60%、安全圏合格ラインは70%、目標ラインを75%として対策をとる。
算数	試験時間60分。高い応用力を要する問題が多い。多様なパターンの練習問題を数多くこなし、応用力とスピードを両立できるような勉強法が必須。出題分野：計算問題1（四則混合計算、未知数）、一文問題2（規則的に並び数、通過算、倍数、時間の計算、和差算、速さ、仕事算、鶴亀算、分数の大小）。応用文章6（比の利用、点の移動、規則性、割合、ニュートン算、旅人算）
国語	試験時間60分。目標点数100/150点。・物語文、説明文、詩などあらゆるジャンルのものが出題される傾向にあるため、パターンにはまった問題の解き方ではなく根本的な読解力の向上を要する。
理科	試験時間50分。目標点数60/100点。基礎的に知識だけを問われる問題は少なく、計算や思考力を問われるものが多い。また設問数も多いため、時間配分を考えた演習は必須。出題分野：物理分野2、生物分野2、化学分野2（物理分野：計算中心、化学分野：知識+論理的思考、生物分野：グラフ、図示、計算中心、地学分野：知識問題）
基本戦略	①合格最低点をとれば、合格である。六甲中学を合格するためにはいかに合格最低点240点（60%）を上回るかがかかってくる。各科目60%を超えればそれで合格する。苦手科目で60%が難しければ得意科目でそれを補う策をとる。→トライでは全ての教科でそれを上回る対策をとる。②傾斜配点利用により優位に立つ。配点の大きい算数・国語に時間をかけて受験を優位に進める。